

講義コード	25468015	
担当者	西村 智 教授	
研究題目	家計の経済学	
<p>[研究内容について]</p> <p>わたしたちの生活は、常に経済情勢の影響を受けています。不況時には収入が減ったり失業したりすることがあります。それが長期にわたる場合には、人生設計や家族計画を見直す必要すらでてきます。一方、こうした家計の行動は消費や貯蓄等を通じて経済に影響を与えています。消費や貯蓄だけではありません。昨今、子どもを持たない（あるいは、出産を先送りする）選択をする個人が増えた結果、出生率が低下し、将来の労働力不足が懸念されるという事態もおこっています。</p> <p>以上のような理由から、経済を知るには、企業行動だけでなく家計行動を分析することも不可欠だといえます。本ゼミでは、わたしたちのライフサイクルにおける様々な選択（就職、結婚など）を経済学的に考察することをテーマにします。</p> <p>[ゼミの運営について]</p> <p>研究演習入門では、上記のテーマに関するテキストを用い、家計の経済学の基本的な知識を身につけることを目的とします。基本的にはテキストの報告と討論によって進めます。また、それらの作業を通じて、内容の理解だけではなく、コミュニケーション力、プレゼン力、論理的思考力を高めることも目指します。</p> <p>また、サブゼミでは、計量分析や実験（行動経済学）によって理論を検証することを学び、受講者が自ら選択したテーマについて研究を行うことにつなげます。</p> <p>研究演習入門に続く研究演習Ⅰ、Ⅱでは、より進んだ知識を身につけるとともに、個人、あるいはグループによる研究を行います。学内、あるいは学外で発表する機会があればどんどん参加していただきたいと思います。</p> <p>その他、ゼミ合宿、ディベート参加を予定しております。</p> <p>[選考基準]</p> <p>能動的に参加できる人を歓迎します。基礎演習の成績も参考にします。希望を出す際に、所定の志望理由書（経済学部事務室で配布）を合わせてご提出ください。</p> <p>選考は書類と面接により行います（面接は定員オーバー時のみ）。オーバーした場合は、研究室まで面接の予約を取りにきてください。</p>		
受け入れ条件		志望理由書の提出と面接への参加（面接は定員オーバー時のみ）
担当者のプロフィール	専攻	労働経済学
	現在の研究テーマ	結婚行動 出産行動 働き方と生産性
	所属学会	社会政策学会、日本人口学会 行動経済学会、生活経済学会、国際公共経済学会